

記載例

(別紙2)

洪水・土砂災害・津波・高潮に関する訓練実施報告書

(あて先) 釧路市長		令和 ○年 ○月 ○日	
		訓練記録作成者(報告者)	
		職 施設長	
		氏名 釧路 太郎	
		連絡先 0154-●●-●●●●●●	
施設の所在地		釧路市黒金町8丁目2番地	
施設の名称		グループホーム釧路防災	
訓練日時		2000 年 ○月 ○日 10時00分から 12時30分 まで	
想定災害 (対象災害と河川名を ○で囲む)		洪水〔 新釧路川 釧路川・別保川 阿寒川 音別川 〕	
		土砂災害	
		津波	
		高潮	
訓練の種類・内容		☒ 図上訓練	☐ 情報伝達訓練
		☒ 避難経路の確認訓練	☒ 立ち退き訓練
		☐ 垂直避難訓練	☐ 備蓄や非常用持ち出し品の確認訓練
		☐ その他()	
		訓練内容について自由記載 (例)ハザードマップを用いて、災害リスクの確認と避難先への避難経路を確認した。	
訓練参加者 ・参加人数		職員 20 名	
		施設利用者 30 名	
		その他訓練参加者(施設利用者の家族や地域住民など)	
		・ 名	
確認事項		☒ 避難支援に要した人数 20 名	
		☒ 避難に要した時間 30 時間 分	
		☒ 避難先や避難経路の安全性(避難先: 防災庁舎5階)	
		その他	
※事務局通信欄(報告者は記入しないこと)			
受付欄		経過欄	
		記入の必要なし	

訓練実施後、おおむね1か月以内に提出してください。また、年に複数回実施する施設は、最後の訓練実施後にまとめて提出することも可能です。

実施した訓練の上にチェックを入れてください